

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第45号

剣道だより (KENDO Nagasaki)



紙雛や 恋したさうな 顔許り・・・正岡子規・・・雛祭り(ひなまつり)

雛祭りは3月3日(月)女の子の節句「ひな祭り」と呼ばれています。起源は貴族の子どもたちの人形遊びと季節の変わり目にけがれを祓(はら)う行事がいつの間にか溶け合っとうまれたと考えられています。中国では上巳(じょうみ。3月の初めの巳の日)に水辺で心身のけがれと病を取り除く行事がありました。

これが上巳の祓いとともに日本に伝わりました。祓(はらえ)とは、神に祈り、罪やけがれ、災いなどを取り除くことをいいます。日本では、けがれを人形(ヒトガタ)に移して、川や海に流す行事となりました。これに、貴族の女子が人形で遊ぶ「ひな遊び」が溶け合っ、人形をつくり・遊び・楽しむ行事に変化したと考えられています。

江戸時代に入り世の中が落ちついてくると、節句は次第に大衆化し、広く人々に親しまれる行事として定着します。8代将軍吉宗の最晩年の頃には、女子の誕生を祝うひな祭りが平和な世の中が続き、女性や子どもが社会のなかで一定の役割を担いはじめ、子育てへの関心が広がったからです。こうして日本ならではの、すべての女性を主役にするひな祭りが誕生しました。

桃の花や白梅が咲き、春を迎え、暖かい陽射しが射ってきています。このような時期こそ、剣道の基礎基本を大事にして、体幹や身体づくりなどで過ごすのも良いのかもしれないね。



写真：ひな祭り (佐世保市)

報告(1)・・・第73回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会県予選

および第17回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選

令和7年2月11日(火/祝)諫早市中央体育館(サブアリーナ)において標記予選会が開催されました。本大会は令和7年4月29日(火/祝)和歌山ビックホエールアリーナ(男子)と令和7年7月13日(日)日本武道館(調整中:東京都千代田区)(女子)で開催されます。選手の皆さんの実力が発揮され最高の試合ができますよう祈念申し上げます。



大将の部 島田貴文 (県警)



水口 快、白石琢磨、宮崎東平、前田聖直、宮崎嵩文、島田貴文



大園望夏、糸瀬理恵子、中村久美子、野崎優花、福田美佐子

		選手		補欠	
		氏名	所属	氏名	所属
男	先鋒(高校生)	田才温人	南山高校		
	次鋒(大学生)	水口 快	中央大学	前田旺駕	國學院大學
	五将(35歳未満)	白石琢磨	長崎市	小野原巧朗	諫早市
	中堅(教職員)	宮崎東平	学剣連	川内将浩	学剣連
	三将(警察官)	前田聖直	県警	永井 心	県警
	副将(35歳以上)	宮崎嵩文	長崎市	山口雄大	官公連
	大将(50歳以上)	島田貴文	県警	山口 巧	県警
女	先鋒(高校生)	北山凜桜	島原高校		
	次鋒(大学生)	米村咲歩	大阪教育大学		
	五将(18歳以上)	大園望夏	県警	松田美結女	学剣連
	中堅(30歳以上)	糸瀬理恵子	学剣連		
	三将(30歳以上)	中村久美子	学剣連	田上幹子	学剣連
	副将(40歳以上)	野崎優花	学剣連		
	大将(50歳以上)	福田美佐子	学剣連	今里智子	東彼地区

全日本都道府県対抗剣道優勝大会長崎県予選会 試合風景



審査会等 案内・・・2025年4月29日～5月11日 京都府・愛知県における審査会

1)	京都審査会 剣道 (六段・七段・八段)		
	令和7年4月29日 (火・祝)	剣道六段審査	京都市体育館
	令和7年4月30日 (水)	剣道七段審査	京都市体育館
	令和7年5月1日 (木)・2日 (金)	剣道八段審査	京都市体育館
2)	京都審査会 居合道 (八段審査・範士審査)		
	令和7年5月1日 (木)	居合道八段審査	京都市武道センター
3)	京都審査会 杖道 (八段審査・範士審査)		
	令和7年5月3日 (土・祝)	杖道八段審査	京都市武道センター
4)	京都審査会 範士 (剣道)		
	令和7年5月6日 (火)	範士審査	京都市武道センター
5)	愛知審査会 剣道 (六段・七段)		
	令和7年5月10日 (土)	剣道七段審査	名古屋市枇杷島スポーツセンター
	令和7年5月11日 (日)	剣道六段審査	名古屋市枇杷島スポーツセンター

報告(2)・・・令和6年度 中央受審者講習会

標記講習会が令和7年2月16日(日)諫早市森山スポーツ交流館において開催されました。模擬審査は六段、七段、八段に分かれ、4人1組で午前午後に分かれ行われました。中央審査本番と同様に模擬審査が行われ、受審者全員が真剣眼差しで取り組みました。班毎に講師の先生方より指導とアドバイスをいただいた後、今年度の新しい取り組みとして六段・七段・八段受審者同士の回り立ち合いを実施し、講師の先生方より更なる指導とアドバイスがありました。受講者にとって有意義な講習会でした。

<受講者>八段受審者 53名、七段受審者 30名、六段受審者 25名 (計108名)

1)六段受審者 受付 9:45-10:00 実技 10:15-11:00	
2)七段受審者 受付 10:45-11:00 実技 11:15-12:00	
3)八段受審者 受付 12:30-12:45 実技 13:00-14:00	
4)六段・七段・八段受審者同士 回り立ち合い 14:15-14:45	



報告(3)・・・令和6年度第47回長崎県下女子剣道大会

令和7年1月26日(日)、諫早市中央体育館において、標記大会が開催されました。長崎県剣道連盟主催の長崎県内女性だけの剣道大会です。県内各地から小学生団体(3人制)47チーム 140名中学生 165名、高校生 102名、一般女子 17名、総勢424名の女流剣士が参加し、大変華やかな大会となりました。

開会式には長崎県剣道連盟居合道部の女性剣士6名による演武が披露され、とても好評でした。

小学生 団体の部			中学生 個人の部		
		<参加> 47チーム 140名			<参加> 165名
優勝	吾妻心練館A	(雲仙市)	優勝	山脇 美真	(時津北剣進会)
第二位	田平武道館	(平戸市)	第二位	堀本 叶愛	(真勇館)
第三位	黒髪少年B	(佐世保)	第三位	平野 綺咲	(海星中学校)
第三位	相浦武道会A	(佐世保)	第三位	松口 咲徠	(中部中学校)
高校生 個人の部			一般女子 個人の部		
		<参加> 102名			<参加> 17名
優勝	本田 澪	(長崎日大高校)	優勝	松田 美結女	(学剣連)
第二位	時村 歩実	(島原高校)	第二位	大園 望夏	(県警)
第三位	川内 優	(島原高校)	第三位	諸岡 花音	(学剣連)
第三位	児島 和歩	(島原高校)	第三位	黒木 美宇	(学剣連)



小学生団体戦 優勝 吾妻心練館A



中学生個人戦 入賞者



高校生個人戦 入賞者



一般個人戦 入賞者



中学生個人戦 試合風景①



高校生個人戦 試合風景②



一般個人戦 試合風景③



開会式の様子 灰谷会長挨拶



居合道 女流剣士と居合道部長



金丸律子 居合道教士七段 居合道演武①



居合道二段 居合道演武②



高校生個人戦剣道大会にも出場

『最高齢(84)での剣道七段合格』

大塚泰秀(鹿児島県出身:佐世保市剣道協会所属)



大塚泰秀先生(佐世保市剣道協会)

「我が剣道の集大成、我が人生の集大成」

佐世保市大塚町在住の大塚泰秀(やすひで)さん(84)が令和7年2月1日(土)に福岡市総合体育館で開催された、全日本剣道連盟の段位審査会で剣道7段に合格されました。

剣道最高段位の8段に次ぐ難関で、全国からの受審で剣道7段合格98人のうち、最高齢の快挙でした。

「我が剣道の集大成、我が人生の集大成と思って取り組んできた。昇段したからには一層背筋を伸ばしていきたい」と心構えを新たにしています。

戦後GHQの指導で剣道ができなくなり、鹿児島大学に入学と同時に剣道部に入部しました。鹿児島大学を卒業するまでに剣道2段を取得し、大学を卒業すると民間企業に勤め、剣道と仕事を両立しながら、剣道5段まで取得しました。

「心身共に健康であり、同好の皆様と稽古できる喜びを感じたい」心に秘めた想い

49歳の時に左アキレス腱断裂をした後は民間企業から心機一転、55歳で佐賀県に鍼灸院を開業しました。この頃から仕事と剣道の両立が難しくなり、剣道から遠ざかることとなりました。

仕事が落ち着いた76歳の時に佐賀県剣道連盟に入会し、剣道を再開すると1年後には77歳で剣道6段を取得しました。

令和4年、82歳で娘の暮らす佐世保市に移住することになり、同時に長崎県剣道連盟佐世保剣道協会に入会しました。大塚さんは審査会までに「健康維持を大切にするために」と地道に鍛錬を重ねてきました。剣道7段取得後も週に2回の稽古会参加と毎日の自宅での素振りや基礎体力づくりで、基本的な剣道稽古の心得るべき事や攻めの機会などの技を磨き続けています。

全日本剣道連盟では剣道7段への昇段率は時期や会場によってまちまちですが、15~25%程度で推移しており、今回は全国から「6段の資格を有して6年以上修行した」受審者392人中合格98人、合格率25%でした。

「私にとって剣道とは自分自身の心の探求の旅である。そのためには心身共に健康であり、同好の皆様と稽古できる喜びを感じたい」と今後に向けての抱負を語っています。



長崎県立武道館(佐世保市)にて



凜として構えた姿勢には品位と風格が感じられます。

